

神港学園報

2018
February
第78号



第70回生
卒業おめでとう

Contents

| | |
|--|--------------------------------------|
| 逃げない P1 理事長 植村 武雄 | 感謝 P3 生徒会 会長 堀内 翔嵐 |
| 誇り高さ金星会員に P1 校長 増尾 禮二 | 育友会の主な活動 P4 |
| 今を生きる P2 育友会 会長 戸倉 和彦 | 本年度の進路状況について P5 |
| 自分の限界や弱さを乗り越えて P2 金星会 会長 米津 康男 | 第2学年進路ガイダンス P6 |
| 心の豊かさを感じて辛苦を恐れず P3 第3学年主任 富岡 浩治 | 各賞の受賞者(卒業生) P7~8 |
| | 活躍する各クラブ P9~10 |
| | 税の作文「命を守る税金」 P11 1年2組 早川 駆流 |



発行人 学校法人 神港学園

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目19番20号 TEL.(078)241-3135 FAX.(078)232-1570
<http://www.shinko.ed.jp> E-mail. info@shinko.ed.jp

逃げない

◀◀ Message



理事長

植村 武雄

第70回生の諸君、ご卒業おめでとう。

保護者の皆様、おめでとうございます。

理事会を代表して、心からのお祝いを申し上げます。

卒業生の諸君には、これからの人生それぞれに、本学園とともに学び、語り合い、行動する中で身に付けられた「進取/チャレンジ精神」と「錬磨/強固な意志と実践力」そして「礼節/人間関係の礎」を忘れず、さらに磨き上げてほしいと願って止みません。いよいよ、本格的に人生への旅立ちです。これまでの「教わる」から「調べて学ぶ」へ、そして他者に「教える」立場へと人間としての成長の階段を一步一步踏みしめながら登ってほしいと思います。また、皆さんを取り巻く環境は大きく拡大します。これからの皆さんは、他人を観る眼を磨き、知人を増やし、未知のフィールドで、自ら考え、自ら行動し、自身のかけがえのない人生を切り開いていかれるわけです。閉じこもらずオープンに社会と接し、より一層強固な自分づくりに励んでください。

卒業生の諸君は、それぞれの進路で与えられた責任を果たすため、まずは自身の研鑽に集中していただきたいと思います。その上で、従来以上に政治、経済、社会の動向に関心を深め、コミュニティ活動にも貴重な時間を

精一杯割いてください。いずれにせよ、高校生活から巣立っていく諸君には、弱気になるな、信じることをブレずにやり抜け、そんな激励を申し上げたいと思います。そこで、諸君のご卒業に際して、「逃げない」という言葉をお贈りします。

皆さんは今まで、教わる、指導を受けるといった、いわば受身中心で過ごしてこれたと思います。しかしこれからは、自ら学び考え、行動するという主体性が求められます。教わっていないからわかりませんという言い訳は、これからは通用しません。単に逃げていると思われるだけです。わからなければ、自らよく調べ考えること、そして、積極的に他者の意見に耳を傾けることです。諸先輩や家族、そして何よりも本学園で友情を育んだ友人達の考えを聴いて判断することです。私が「逃げない」というのは、このような意味で申し上げているのです。また、大きな困難、嵐に直面したとき、岩陰に身をひそめて耐え忍ぶことも「逃げない」ということです。現実から目を逸らさない勇気も「逃げない」ということです。

私は、皆さんには、この「逃げない」という言葉をキーワードとして、強い人間になってほしい。人間力を身につけてほしい。自分のためだけでなく、世のため人のため、かけがえのない、存在感のある自立した社会人になってください。

誇り高き金星会員に

◀◀ Message



校長

増尾 禮二

本校には応援歌が三つあります。全国に高等学校は、約4,900校ありますが、中でも応援歌が三つもある学校は、極少数でしょう。三つになった経緯は、100年近い歴史の中で必要とされる出来事が起こったのか、時代、場面にあった新しい応援歌を求める雰囲気盛り上がったからなのでしょう。その時代、時代に求められ三つの応援歌が出来上がってきています。三つも存在するという事は、関係する者にとって大変誇らしいことです。

今では恒例となっている入学直後のファーストキャンプにおいて、校歌とともに応援歌を繰り返し練習したことを覚えていませんか。また、歌詞やメロディーを覚えていますか。

その後、在学中に歌う機会をあまり多く作ってあげることができなかったので、楽譜や歌詞を見ないで歌える人は少ないのではないかと思います。

その応援歌の『その一』の1番に「・・金星台下 神港に・・」、また『その二』の1番の冒頭に「金星台下 神港に 鍛え鍛えし 君の技・・」とあります。この『金星台』とは、校舎北側の諏訪山の中腹にあります。健脚なら15分もあればたどり着ける距離です。

1874年(明治7年)にフランスの天体観測隊が、金星の太陽面通過の観測をこの地で行いました。それ以降、観測した場所を金星台と呼ぶようになっています。また、この場所と諏訪山展望台を繋ぐ螺旋橋の愛称もヴァーナス(金星)・ブリッジと呼ばれています。

この金星台にちなんで、我が校の同窓会は「金星会」と名付けられています。そして、3年生の皆さんは、卒業後は金星会員となるわけです。

汗を流し、息を切らし、壁にぶち当たり、悩みながらも止まることなく前を向いて走り抜けてきたこの三年間は、きっと一生の思い出となって、何十年後でも色あせることはないでしょう。また、このときにできた友情も同様で、生涯の友となっていくます。

これからは、神港学園の卒業生として、金星会員としての誇りを胸に、世界で光り輝くような活躍をしていくことを期待しています。そして、いつの日か後輩の神港健児が活躍する姿に声援を送りながら、皆で応援歌と一緒に歌う機会が訪れることを祈念して、お祝の言葉とします。

今を生きる

◀◀ Message



育友会 会長
戸倉 和彦

神港学園70回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。皆さん、三年間の神港学園での生活はいかがでしたでしょうか?皆さんの思い出や将来に向けての夢や希望、そして今の自分がどういった人間であるかを認識し、将来どういう人間になりたいかを一番考えた時期だったのではないかと思います。そんな中で、たくさんの人に出会い、他人を羨ましく思ったことがあると思います。そんな時に少し思い出してほしいことがあります。

私は、人間生まれた時から不平等だと思います。「お金持ちの家に生まれた人」「イケメンや美人な人」「運動神経抜群な人」等々こんなことを言い出せばきりがありません。子供と言われている間は、そんな不平等を親や教育現場でフォローして「不公平のないようにしましょうね」と周りと同じように生活できていたと思います。しかし、皆さんはもう大人の仲間入りをします。力のないものはあっさり切り捨てられる厳しい世の中に出て、不平等を今まで以上に感じる場面が多々あると思います。

しかし、地球上で生きているもので絶対的に平等なものがあります。それは、時間です。アメリカの大統領も貧しい国で生まれたばかりの赤ちゃんでも同じ一秒を過ごし、その一秒は誰のものでもなく自分のものです。どんな人間でも時間を買うことはできません。その一秒一秒をどう使うかによってどんな不平等も逆転できます。逆にその一秒の使い方でき逆転することができません。皆さんは、今までたくさんの時間を過ごし、そして今からたくさんの時間を使えます。幸せを感じる部分は人によって様々ですが、今まで使った時間で得たものを活かし、今からの時間を大切に使い自分の夢に向かって突き進んでください。今を一生懸命生きれば必ず自分の思い描く幸せを掴めるはずです。

皆さんが皆さんの幸せに溢れることを願っています。

最後になりましたが、校長先生をはじめ子供たちの教育に携わっていただいた教職員の皆様、育友会活動にご理解ご協力いただきました保護者の皆様にも心よりお礼申し上げます。

自分の限界や弱さを乗り越えて

◀◀ Message



金星会(同窓会) 会長
米津 康男

ご卒業おめでとうございます

皆さんは卒業後、仕事に就く人、進学する人と、様々な選択をして世に出て行きます。それは、皆さんが選び取った道です。その道に向かって誠実に歩いていってください。未来に向かって歩いていく中で楽しい時もありますが、困難な時、孤独で疲れ果ててしまう時、闇の中で手探りで進んで行かなければならない時もあります。歩み続けるということは大変難しいことなのです。あまり早足で歩き続けると息切れしてしまい、疲れてしまって目的地へ行きつくことはできません。しかし、歩かないで休んでばかりいても目的地へは到着することができません。また、迷ってどうしたらいいのか途方に暮れることもあります。こんな時は、決してあきらめないで、自分はどうか、どこへ行きたいのか、じっくり考え直してみてください。そして、疲れと重荷を背負って歩くことを覚悟してください。途中で失敗や挫折することもあります。過ちを犯してしまうこともあります。もうこれまでだということもありますが、自分の限界や弱さを認めた上で、過去のうまくいったこと、楽しかったことを思い起こし、心の平衡を取り戻してください。人生で傷つき、苦しむことは何度もありますが、困難な時に起こりやすい孤独は避け、人との出会いや対話を大切にしてください。利己心、心の閉鎖、他人への無関心を避けて、暖かい慈しみの心で人と接するように心がけ、友と共に、人と共に、これからの人生に向かって行ってください。

健闘を心からお祈りいたします。

心の豊かさを感じて辛苦を恐れず

◀◀ Message



第3学年 主任
富岡 浩治

「人はひとりでは生きていけない」最近、特にそう思う。「自分だけが良ければいい」「だれにも迷惑をかけていない」と言い切る若者が増えてきたように感じる。本当にそうだろうか。今までの人生の中でたったひとりで育ってきたはずはない。そして、これからもひとりでは何もできない。自分にとって大切な人や物を見つけ出してほしい。きっとあるはずだ。そして、愛情を持って大事にしてほしい。また、家族や友人や恋人などとの関わりの中で生きてきたことに気付くだろう。親の愛情が注がれてきたことを忘れてはいけない。困難なことにぶつかったときも、様々な人々に支えられ克服してきたに違いない。また、思いやりの気持ちを持って、救いの手を差し延べたこともあるだろう。そうして心は豊かになっていく。これからの社会は厳しい。しかし、その厳しさの中で人は努力している。心の豊かさを常に感じていれば人生は楽しいし、やる気も湧いてくる。寂しい心にだけはなってほしくない。自分がこの世に存在していることはすばらしいことなのだから。

「やまない雨はない」「冬はやがて春になる」と言われるように、辛いことや苦しいことはいつまでも続くわけではなく、いつかは楽しいことや嬉しいことがやってくる。しかし、その反対に楽しいことや嬉しいことも、晴れの日が続かないのと同じように、夏から秋、そして冬へと季節がめぐるように、いつかは終わりを告げる。人は誰しも、辛く苦しいこ

とは短く、喜びと楽しみを長く感じていたいと思っている。それは決して悪いことではない。けれど、常夏の国に生きる人が春の訪れという喜びを知らないように、また、飽食の国に生きる者が1日わずかに1食の食事に楽しみを感じることがないように、喜びと楽しみが当たり前のように繰り返されれば、それをそれと感じなくなる。喜びや楽しみを本当に知るためには辛く苦しいときを過ごすことも大切だ。辛く苦しいときにはそれに感謝しよう。それは喜びと楽しみを感じるために必要なことなのだから。

卒業は節目ではあるが決してゴールではない。君たちの前にはどこまでも続く道がある。それは決して平坦な道のりではない。激しい嵐にも遭うだろう。凍てつく寒さを経験するかもしれない。しかし、辛苦を恐れず、まっすぐ前を見つめ、はるか遠くにあるゴールを目指して歩いてほしい。

卒業おめでとう。

感謝

◀◀ Message



生徒会 会長
堀内 翔嵐

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。月日が流れるのは早く、ついこの間入学したばかりなのに、と思われる方も多いことでしょう。三年前の春、皆さんは期待や不安で胸をいっぱいにご入学され、これからの日々を過ごす新しい教室や友達、先生を前にして、きっといろいろな目標を定められたことでしょう。その目標は達成できたでしょうか。目標はそれぞれ異なっても、目標に向かって努力、挑戦する姿は、すべての人が同じように輝いていました。実際、学校行事や、部活動などで先輩方のお姿を拝見したとき、とても格好良く、その姿を目指し、私も頑張ろうという気持ちになりました。

私のように、先輩方から勇気もらった人はたくさんいると思います。そこで私は、在校生の代表として伝えたいことがあります。それは、先輩方への感謝です。どんなことに感謝するのかは人によって様々ですが、共通していえることは、心からの「ありがとう」の気持ちです。今まで本当にありがとうございました。

皆さんは、これからより大きな舞台で新たな目標に向かって輝き続けていかれると思いますが、進んでいく先で辛いことや疲れてしまうこともあると思います。そんなときには、この三年間の経験を生かしてください。また、共に過ごした仲間が大きな支えとなり、乗り越えることができると思います。皆さんの未来が明るく輝かしいもので

あるよう、私たちは願っています。これからも頑張ってください。

卒業しても神港学園にお顔を見せに来ていただけたらと思います。三年間本当にお疲れ様でした。社会で大いに活躍なさることを祈っています。

育友会の主な活動

平成
29年度

育友会総会(5月20日)

平成28年度事業報告、決算報告
平成29年度事業計画案、予算案提出
新役員選出、学級委員承認

文化祭に向けての教養委員会(6月3日)

おふくろ庵メニュー(焼肉丼)試食会、ポスター等作成作業

文化祭前日準備(6月16日)

調理器具準備・模擬店設営他

文化祭(6月17日)

おふくろ庵(焼肉丼・明石焼)、物品販売(ミニフラッグ、マフラータオル)

文化祭反省会(7月8日)

来年度に向けた教養委員との意見交換

体育大会参加(9月29日)

生徒へのドリンク配布他

親睦旅行(10月21日)

滋賀/長浜方面(クラブハリエ ラコリーナ 黒壁スクエア散策)

生徒指導合同懇談会(12月9日)

本校の生徒指導について
学年別意見交換

学級委員懇親会(12月9日)

学級委員との情報交換



進路決定に向けて

進路指導部より

平成29年度の卒業予定者は294名です。そのうち約8割の生徒がすでに進路を決めています。

進学では、指定校推薦やAO入試など学科試験を課さない入試を利用する生徒の数が半数います。自分の学力を把握して、早い段階から自分の特長を自覚し第1志望校をしっかりと決め、進路決定に臨もうとする姿勢の表れだと分析しています。中でも普段から授業を大切にして実力をつけて、推薦入試に挑戦し、みごと第1志望校に合格した生徒がいました。しかし、一部の生徒とはいえ、準備を疎かにして見た目は科目数の少ないAOや推薦入試にいつまでも振り回されていた例がありました。

進路指導においては「行ける大学より行きたい大学へ」という目標を掲げています。進路実現には、1年生から2年生にかけて実施する模試の結果から、自分の学力が目標とどれだけ開きがあるのかを確認しながら二年間でその差を縮めることが求められます。自分の学力に目標を合わせるのではなく、目標に自分の学力を近づける努力をしましょう。「現役は最後の最後まで学力が伸びる」と言います。センター試験や一般入試にチャレンジしようとする生徒諸君をしっかりサポートします。

就職状況については、求人数も増加し売り手市場となってきました。しかし、増加している求人の中には業種・職種の偏りやミスマッチ等の状況がみられ、即内定につながらないケースもあり、難関企業については高倍率となり厳しい戦いを強いられた生徒もいました。そんな状況の中、仕事をする上で必要となる「筆記試験での学習能力」はもちろんのこと、人間力を求める「面接試験での対応力」「適性検査での仕事力」など、企業が求める人材かどうかを見極めた上で内定が決まるという特徴は昨年度と同じでした。本校でも早い時期から指導を開始し、学校推薦での就職希望者については就職問題集での家庭学習や個別指導はもちろんのこと、面接指導においてもVTRを使用している客観的学習法など夏休み返上で行った結果、第1次受験者の内定率が94%となりました。2次募集以降も生徒達は粘り強く挑戦し、11月には、学校推薦の生徒達全員の内定をいただくことができました。また、公務員、縁故就職でまだ未決定の生徒達もあきらめず就職活動を継続しています。来年度についても進路指導部としてはここ数年の経験や社会状況をふまえ、就職に対して取り組む姿勢のあり方や各企業や職種毎の受験対策など、内定獲得に向けてきめ細やかな指導を心がけていきたいと考えています。

平成29年度の進路状況(合格者実数)

平成30年1月31日現在

| 4年制大学 | 短期大学 | 専門学校 | 就職 |
|-------|------|------|-----|
| 148名 | 8名 | 42名 | 46名 |



第2学年／大学・企業など訪問

1年後には合格するようがんばります！

12月15日(金)に第2学年は、9台の大型バスに分乗して、12カ所の大阪や兵庫の大学・専門学校・企業を訪問し、見学させていただきました。以下の大学・企業の他に、神戸電子専門学校・トヨタ神戸自動車大学校・関西健康科学専門学校・兵庫栄養調理製菓専門学校・神戸動植物環境専門学校・神戸ベルエビル美容専門学校を訪問しました。あこがれの大学等を訪問して、あらためて進路への決意を固めました。

関西学院大学

関学では、入試部公認の学生団体であるKGCLUBの学生から学部や大学生活について説明していただきました。世界44か国・地域、200を超える大学との連携がある関学では留学や外国語研修などの多彩なプログラムを展開しています。現役大学生の生活を聞いたり、キャンパス内を見学して生徒たちは刺激を受けている様子でした。是非目標にしたいものです。



関西大学

「関大には、人がいる」
 <新ブランドスローガン>創立130周年を前に、新たなあるべき姿を模索しています。13学部・16研究科を構えている総合大学です。冬季五輪の女子フィギュアスケートの出場を決めた(12月15日時点では未決定)体育会アイススケート部の現役関大生・宮原知子さんの新聞記事が至る所に掲げられていました。文武ともに教育環境が整っています。



甲南大学

甲南大学では、大講義室にて大学の全学部について説明を受けました。住宅街にあるということもあり、規模は小さいとおっしゃっていましたが、学生会館の施設は今年9月に完成したばかりで、施設の最新設備に圧倒されました。今後、本校の目標にしたい大学です。



大阪経済大学

31名で訪問しました。講義室で学部や大学生活についてわかりやすく説明していただきました。学生数7500名の中規模大学で都心に位置するキャンパスは活気に満ちていました。密度の高い実学教育に裏打ちされた就職率の高さから、受験者数も年々増えているとのことです。



大阪学院大学

大阪学院大学では、広報部の方々、そして現役大学生の方に学校の紹介をしていただきました。立地もよし、部活動も強く、学校の施設は広くきれいで緑も多いなど、魅力の詰まった学校に本校生徒は興味津々な様子でした。

本校からは毎年10人前後が進学している学校ですので、今後も多数のOBが活躍してくれることを期待しましょう。



明石機械工業株式会社

自動車を1台作るために、様々な部品が必要であり、それぞれが重要であることを知りました。社員一人一人が自分の仕事に責任とプライドを持って取り組まれていました。また報告・連絡・相談の徹底や社内でのルールを守る大切さも教えていただいた。仕事の大切さや厳しさを学び、これからの進路に繋げたいものです。



表彰を受ける者

各賞を受賞する者および代表者

| | | |
|--------------------|----|--------|
| 卒業証書授与総代 | 3組 | 山本 凌平 |
| 卒業記念品目録贈呈者 | 6組 | 平沢 光 |
| 日本私立中学高等学校連合会賞受賞者 | 8組 | 梅田 青祈 |
| 兵庫県私立中学高等学校連合会賞受賞者 | 6組 | 河田 将欣 |
| 皆勤賞受賞代表者 | 4組 | 奈木野 聖也 |
| 精勤賞受賞代表者 | 2組 | 森田 晃斗 |
| クラブ功労賞受賞代表者 | 1組 | 岩野 光貴 |
| 金星会賞受賞者 | 7組 | 阪井 達朗 |
| 育友会賞受賞者 | 5組 | 戸田 将太 |
| | 8組 | 阪本 捷仁 |
| 答辞 | 7組 | 大西 由姫 |

皆勤賞を受賞する者(25名)

- 1組 尾崎 二千翔、長嶋 楽斗、宮山 優汰
- 2組 小川 諒也、小柳 大樹、澤田 叶夢
- 3組 梅田 稜也、浦田 輝、落合 琉弥、新島 永悟
- 4組 大山 祥希、小畑 拓海、奈木野 聖也
- 5組 加納 栄輝、中川 直人、中野 雄登、水野 尊雄
- 6組 新谷 勇陽、三浦 照太
- 7組 戸梶 巧貴、富田 凌平、中村 頑真
- 8組 巖 大貴、木和田 博貴、阪本 捷仁

精勤賞を受賞する者(77名)

- 1組 石橋 大樹、岩崎 克海、梅 真介、大槻 優輝、菅原 元気、田中勝輝、中村 和人、馬場 健次、宮永 昇平、山本 淳平
- 2組 桶本 貴紀、神田 一輝、小林 健史、谷水 大地、橋元 正和、濱崎 太澄、裕田 翼、丸中 仁志、三浦 直矢、森田 晃斗、山本 陽向
- 3組 浦本 洸、塩本 優太、柴田 敦也、清水 大喬、瀬川 怜生、高垣 眞真、竹場 裕二郎、中田 涼太、森重 瑠偉、山本 樹弥、山本 凌平
- 4組 神社 優希、佐伯 峻哉、清水 夏暉、田野 裕斗、富岡 誠、原 佑翔、矢田 桂都、山本 涼太
- 5組 石井 将貴、太田 涼介、喜多 凌太郎、壽 柁哉、田淵 晴貴、張 優希、野北 伊吹、松井 岳、松本 怜於、三木 虎太郎、持永 玲央
- 6組 院瀬見 直也、河田 将欣、竹本 勇也、平沢 光、水澤 一喜、森田 夏寿季
- 7組 大西 由姫、小山 敬太、阪井 達朗、柴川 拓斗、嶋田 大暉、白木 涼太、新免 啓多、津賀 知哉
- 8組 梅田 青祈、大村 幸長、岡本 侑樹、堺 啓人、杉井 順哉、泰地 征孝、直江 翔太、福井 慶次、藤原 壮馬、三宅 天也、山本 裕貴、奥那覇 宏

クラブ功労賞および功績

柔道部(3名)

- 第38回全国高等学校柔道選手権大会
男子団体 出場
1組 岩野 光貴
- 第58回近畿高等学校柔道新人大会
男子個人 66kg級 出場
1組 洪田 駿斗
- 第72回国民体育大会柔道競技
出場
5組 戸田 将太

空手道部(4名)

- 平成28年度近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 出場
1組 尾崎 二千翔
- 平成28年度近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 男子個人組手 出場
男子団体形 3位
5組 石井 将貴
- 平成28年度第36回全国高等学校空手道選抜大会
男子団体形 ベスト16
男子個人形 出場
5組 喜多 凌太郎
- 平成28年度第36回全国高等学校空手道選抜大会
男子団体形 ベスト16
7組 阪井 達朗

硬式野球部(4名)

- 平成28年度秋季近畿地区高等学校野球大会
出場
1組 大西 泰生・河野 裕貴
菅原 元気
- 6組 平沢 光

軟式野球部(3名)

- 第60回全国高等学校軟式野球選手権大会
出場
1組 中川 雄大・山本 淳平
梅 真介

バレーボール部(11名)

第16回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会
準優勝

6組 奥重 修斗・堀川 貴之

平成29年度近畿高等学校バレーボール優勝大会
出場

1組 岡本 大輝

2組 小川 諒也・神田 一輝

5組 太田 涼介・張 優希
寺尾 友吾

6組 石橋 直樹

8組 福井 慶次・三宅 天也

剣道部(3名)

平成29年度第55回近畿高等学校剣道大会
ベスト16

6組 石野 咲京・富永 夢希

7組 大西 由姫

陸上競技部(1名)

第85回近畿陸上競技選手権大会
1500m 第6位

1組 北川 一樹

ゴルフ部(4名)

平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会
女子団体の部 出場

5組 高田 愛来

6組 小川 うらら・山下 莉奈

平成28年度全国高等学校ゴルフ選手権
春季大会

男子個人の部 出場

7組 前田 祥牙

射撃部(3名)

第55回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
団体 10位

3組 落合 琉弥

近畿高等学校春季ライフル射撃大会
ピストルの部 17位

6組 藤本 淳志

第72回国民体育大会
第4位

8組 阪本 捷仁

平成29年度 マラソン大会順位

第1学年

1位 梅田 秀斗(1組)

2位 戸津川 輝(7組)

3位 白玖 侑也(6組)

4位 大崎聖太郎(5組)

5位 城戸口俊希(6組)

第2学年

1位 富野 豊(3組)

2位 永広 将輝(7組)

3位 前田 武斗(1組)

4位 吉島 徳康(3組)

5位 瀬戸 太陽(5組)

女子の部

1位 木庭 夢菜(1年1組)

2位 竹内 莉子(1年1組)

3位 黒田 優莉(2年1組)

4位 釣 きらら(1年1組)

5位 有村 恋(1年1組)



活躍する各クラブ

硬式野球部

平成29年度春季神戸地区大会 優勝
平成29年度春季兵庫県高等学校野球大会 ベスト8
第99回全国高等学校野球選手権兵庫県大会 ベスト16
平成29年度秋季神戸地区大会 優勝
平成29年度秋季兵庫県高等学校野球大会 第3位
平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会 出場

軟式野球部

平成29年度春季兵庫県高等学校軟式野球大会 ベスト4
第62回全国高等学校軟式野球選手権兵庫大会 準優勝
平成29年度秋季兵庫県高等学校軟式野球大会 準優勝

陸上競技部

第59回神戸市市民大会 兼 第24回神戸市陸上競技選手権大会
男子1500m決勝 第3位 北川 一樹
男子400m決勝 第7位 院瀬見 直也
男子三段跳決勝 第6位 上田 祥平
男子走り幅跳び決勝 第3位 井上 竜誓
男子円盤投げ決勝 第6位 加納 栄輝
第61回兵庫県高等学校総合体育大会 神戸地区予選会
男子400m決勝 第5位 院瀬見 直也
男子1500m決勝 第6位 北川 一樹
男子5000m決勝 第2位 北川 一樹
男子三段跳決勝 第5位 上田 祥平
男子走り幅跳び決勝 第8位 井上 竜誓
第61回兵庫県高等学校総合体育大会 兵庫県大会
男子1500m決勝 第7位 北川 一樹
男子5000m決勝 第7位 北川 一樹
兵庫陸上競技選手権大会
男子1500m 北川一樹(近畿選手権出場権利を獲得)
第69回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 神戸地区大会
1年 800m 5位 梅田 秀斗 1500m 5位 江田 健人
3000mSC 7位 大崎 聖太郎 8位 柳生 大輝
5000m 8位 白玖 侑也
2年 200m 総合11位/走り幅跳び 3位 井上 竜誓
第69回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
1年 800m 梅田 秀斗 準決勝進出
2年 走り幅跳び 5位 井上 竜誓
第69回神戸地区高等学校陸上競技対校選手権大会
男子走り幅跳び決勝 5位 井上 竜誓
男子800m決勝 8位 北川 一樹
男子5000mタイムレース決勝 1位 北川 一樹
第85回近畿陸上競技対校選手権大会
男子1500mタイムレース決勝 6位 北川 一樹
男子第72回・女子第34回 兵庫県高等学校駅伝競走大会
神戸地区予選会 第4位
男子第72回・女子第34回 兵庫県高等学校駅伝競走大会
第29位

バレーボール部

平成29年度神戸市内高等学校バレーボール 春季リーグ戦 優勝
平成29年度兵庫県高等学校総合体育大会ベスト16
第20回兵庫県ビーチバレー高等学校選手権大会
優勝 奥重 修斗/堀川 貴之
準優勝 小林 優斗/菅井 晴翔
平成29年度近畿高等学校バレーボール優勝大会 出場
第4回近畿ビーチバレーボールジュニア選手権大会
第5位 小林 優斗/菅井 晴翔

第16回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会
準優勝 奥重 修斗/堀川 貴之(共に優秀・有望選手賞受賞)
決勝トーナメント進出 小林 優斗/菅井 晴翔
第29回兵庫県私立高等学校男女バレーボール優勝大会 準優勝
優秀選手 南 凱/畑本 悠次
第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会兵庫県予選 3回戦進出
平成29年度神戸市内高等学校バレーボール 秋季リーグ戦 準優勝
第36回近畿私立高等学校バレーボール選手権大会 3部3位
平成29年度 マロニエ賞
(兵庫県ビーチバレー高等学校選手権大会5年連続優勝)
平成29年度兵庫県スポーツ優秀選手賞
第37回こうべユース賞
奥重 修斗/堀川 貴之
平成29年度神戸市内高等学校バレーボール新人大会 第5位
優秀選手 畑本 悠次

卓球部

神戸市総体中央区予選会
個人 準優勝 若松 快
第59回兵庫県高等学校新人卓球大会予選会
ダブルス 若松・木村ペア 決勝トーナメント進出
第59回兵庫県高等学校新人卓球大会 出場

ハンドボール部

平成29年度神戸市高等学校春季ハンドボール大会 2部リーグ1位
平成29年度兵庫県民ハンドボール大会 ベスト16
平成29年度神戸市高等学校秋季ハンドボール大会 2部リーグ2位
平成29年度兵庫県高等学校新人ハンドボール大会 出場
平成29年度近畿私学ハンドボール大会 出場

サッカー部

高円宮杯U-18サッカーリーグ2017 神戸市2部Aリーグ5位
平成29年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会 予選ラウンド3回戦進出

柔道部

平成29年度神戸市高等学校体重別柔道大会
男子60kg級 優勝 顕徳 大晴
73kg級 3位 高橋 寛多
90kg級 優勝 岩野 光貴
平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 兵庫県大会
男子60kg級 優勝 顕徳 大晴
第12回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会
男子60kg級 2位 顕徳 大晴
第61回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技 男子団体3位/女子団体5位
男子60kg級 優勝 顕徳 大晴
66kg級 ベスト8 渋谷 駿斗
73kg級 3位 高橋 寛多
90kg級 3位 岩野 光貴/戸田 将太
100kg超級 3位 大原 涼馬/ベスト8 小西 貴大
第66回兵庫県高等学校新人柔道大会 男子団体3位
男子60kg級 優勝 顕徳 大晴
73kg級 2位 高橋 寛多
90kg級 3位 柴原 海斗
100kg超級 3位 小西 貴大/5位 大原 涼馬
第40回全国高等学校柔道選手権個人試合 兵庫県予選
60kg級 優勝 顕徳 大晴
73kg級 優勝 高橋 寛多
第59回近畿高等学校柔道新人大会
男子73kg級 第3位 高橋 寛多

バスケットボール部

平成29年度全国高等学校バスケットボール選手権大会
県大会出場
兵庫県私学大会 Bブロック2位 Aブロック昇格
平成29年度兵庫県高等学校新人選抜優勝大会
県大会出場

剣道部

姫路市民大会女子団体の部 優勝
姫路市民大会男子団体の部 第3位
神戸市内高校剣道大会並びに県総体神戸地区予選大会
女子団体の部 優勝
神戸市内高校剣道大会並びに県総体神戸地区予選大会
女子個人試合の部 第3位 富永 夢希
兵庫県高等学校総合体育大会剣道競技
男子個人試合の部 第5位 宮永 昇平
女子団体試合の部 第5位
優秀選手賞 石野 咲京
第55回近畿高等学校剣道大会女子団体試合の部 ベスト16
神戸市内高校剣道大会兼県新人剣道大会神戸地区予選大会
男子個人の部 第3位 谷川 裕登
女子団体の部 第3位
北近畿交剣道大会
女子団体の部 優勝
男子団体の部 第3位

テニス部

平成29年度兵庫県高等学校総合体育大会テニス 団体戦 2回戦進出
個人戦 富田 凌平 決勝トーナメント進出
平成29年度神戸地区夏季リーグ戦5部リーグ 2位
平成29年度兵庫県新人大会団体戦 3回戦進出
平成29年度神戸地区秋季リーグ戦5部リーグ 3位

空手道部

平成29年度神戸市高等学校春季空手道大会
男子団体組手 第3位
男子個人形 準優勝 近藤 啓太
第3位 河野 秀人
男子個人組手 第3位 辰巳 虎寛/尾花 和哉
平成29年度兵庫県民体育大会 空手道競技
男子個人形 優勝 喜多 凌太郎
第3位 平井 孝法
第5位 尾花 和哉 松木 穰
平成29年度兵庫県高等学校総合体育大会空手道競技
男子団体形 第3位/男子団体組手 第3位
男子個人形 第3位 阪井 達朗/喜多 凌太郎
男子個人組手 第3位 石井 将貴
平成29年度兵庫県高等学校空手道新人大会
男子団体形 優勝/男子団体組手 第5位
男子個人形 第3位 東畑 憲典
男子個人組手 準優勝 尾花 和哉
第37回近畿高等学校空手道大会
男子個人組手 +68kg 準優勝 尾花 和哉
3月開催の第37回全国高等学校空手道選抜大会に出場

ゴルフ部

全国高等学校選抜ゴルフマッチプレー選手権大会出場
小川 うらら
平成29年度全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
女子の部出場 高木 美空
平成29年度関西高等学校ゴルフ選手権大会出場
小川 うらら/山下 莉奈/幸勢城 紗良/高木 美空/橋本 穂乃佳/前田 祥牙

水泳部

第1回近畿高等学校新人水泳競技大会 100m自由形 出場
岩木 朔多
第4回神戸市秋季水泳競技大会 50mバタフライ
第2位 岩木 朔多

射撃部

平成29年度兵庫県ビームライフル射撃競技大会全国大会予選
男子団体 優勝
男子個人 第3位 阪本 捷仁
近畿大会予選
ライフルの部 阪本 捷仁/川端 基
ピストルの部 藤本 淳志/好井 祐貴
近畿高等学校春季ライフル射撃大会
ライフルの部 第2位 阪本 捷仁/第11位 川端 基
ピストルの部 第13位 好井 祐貴/第15位 濱田 智朗
第17位 藤本 淳志
第55回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
団体の部 第10位
個人の部 第14位 阪本 捷仁
第72回国民体育大会近畿ブロック大会
優勝 阪本 捷仁
第72回国民体育大会
ビームライフル30発競技 第4位 阪本 捷仁
近畿高等学校秋季ライフル射撃大会
ライフルの部 第6位 川端 基/第17位 小東 七海
第18位 中川 裕一郎
ピストルの部 第7位 中澤 達也

サイエンス部

平成29年度青少年のための科学の祭典神戸大会出展
奨励賞受賞(平成29年8月)
私学フェスティバル参加(実験演示 平成29年8月神戸)

書道部

第59回 大東文化大学全国書道展
銀賞 橋本 虹太/前田 竣也
第64回 日本学書展
入選 橋本 虹太/前田 竣也
第41回 兵庫県高等学校総合文化祭書道展
特選 前田 竣也/入選 橋本 虹太
兵庫県私学総連合会第50回私学の書展
入選 橋本 虹太/前田 竣也

美術部

アートフェスティバル2017
入選 大谷 龍二/北口 奈美
第41回兵庫県高等学校総合文化祭高校美術展 出展
第57回兵庫県私学連合美術展
優秀賞 北口 奈美
第9回高校生の油絵アートコンテスト
個人の部大賞(全国で1名) 平田 優貴

放送部

NHK杯全国放送コンテスト兵庫県大会予選 第2地区
朗読部門 佳作 堀内 翔嵐
第41回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門予選大会
朗読部門 佳作 堀内 翔嵐

平成29年度「税に関する高校生の作文」入選者!!

命を守る税金

1年2組

早川 駆流



私が税金に興味を持ったのは、各地で発生する災害のニュースを見たのがきっかけだった。

テレビをつけると朝から晩まで被災地の様子が映し出された。誰かのふるさとが跡形もなく崩れさり、ある時は街の象徴でもあるお城が無惨な姿をさらしていた。それでも時間が経つにつれ、今度はボランティアに向かう人々の姿や、救助に励む救急隊員、自衛隊の活動などが報道されるようになった。こんなにも悲しい現実の中で、それでも前に進もうとがんばる人達。私にも何か出来る事はないのだろうかかとふと考え始め、機会があったら募金でもと思った時、ところで復興や救援作業にかかるであろう費用は誰が払っているのかと気になった。

家族に聞いたり、新聞やネットで調べてみると、必要な費用は実に様々だった。仮設住宅の建設費用、道路の修復、ガレキの撤去作業。被災された方が一時的に身を寄せている学校や公民館の維持や立て直しにもお金がかかる。これらは全て税金でまかなわれるというではないか。より被害の大きかった東日本大震災の時には、復興特別税という特別措置法が設定されたそうで、防災の為に必要なお金を所得税、住民税、法人税などに上乗せし徴収するという事だった。間接的とはいえ私も家族も人助けをしていたのだ。

これまで、税金といえば買い物の時にかかる消費税のイメージしかなかった。それはとてもマイナスな感情もので、払いたくないお金だった。しかし、人を助けるために使われている事を知って私の中の税金が変わった。父や母が一生懸命働いて得た収入から、また私が払った消費税から巡り巡って少しでも困った人の役に立っているのなら、それはとても誇らしいことだと思った。

税金とは、払いたくないお金ではなく、たくさん払いたいと思えるものでなければならない。弱者や困っている人の助けとなり、また、自分が困った時に助けてくれるのが税金なのだから。日本という国は、税金を通して社会に貢献し助け合える国でなければならない。それは災害の時、復興するために、命を助けるために必要な支えなのだから。いつか納税者になった時、その使い道に思いをさせて喜んで払えるようになりたいと思う。税金という仕組みこそが、助け合いの精神そのものなのだ。

